



**Challenge to next stage～新たなステージへ挑戦し、共に成長を～**

## 会長挨拶

### 2019年度会長 入川 信夫

2019年度、江南商工会議所青年部(以下江南YEG)会長を拝命しました入川信夫です、どうぞ宜しくお願い致します。皆様には日頃より江南YEGの活動に対し、格別のご理解とご協力を頂いております事心よりお礼申し上げます。設立から諸先輩方が守り繋いで来られた江南YEGは25年の節目を迎え、より結束力の強い単会へと成長し続けております。この結束力を活かしつつ仲間と共に創意と工夫を凝らし自己や組織を成長させることで、次代へ繋ぐ豊かな地域作りの一翼を担うことが出来ると考えます。2019年度江南YEGは「ONE UP! Challenge to next stage」～新たなステージへ挑戦し、共に成長を～のスローガンの基、多様な視点から考え気付き、変化を恐れず勇気と情熱を持って挑戦することで、会員はもとより地域にとっても実り多き1年に成るよう活動して参ります。



2019年度の役員メンバーと。1年間よろしくお祈いします！

## 会長所信

本年度、江南商工会議所青年部(以下江南YEG)は設立以来25年という節目を迎えます。四半世紀に渡り青年部活動を通じ地域経済発展に寄与してこれ、現在の江南YEGを築いてくださった諸先輩方に心より感謝申し上げます。昨年度は『義理人情』のスローガンの基、相手の立場になって思いやる心を持ちながら活動に参加して頂くことで、一段と結束力の強い組織になったのでは無いかと感じています。自身も入会してから多くの人たちとの繋がりが出来、多くのことを学び成長させて頂きました。私たちの江南YEGはどのような姿が望ましいのでしょうか？

私はその1つとして、メンバーにとって又地域にとってより存在価値のある頼りがいのある団体となることであると考えています。

近年の経済状況は消費者物価指数の上昇や雇用促進など景気回復傾向にありますが、私たち地方の中小零細企業にはまだまだ実感が得られていないのが現状です。この状況下において勝ち抜き明るい未来を掴むには、人として、そして何よりも経営に携わる立場として成長し続けていかなければ成りません。その機会を与えてくれるのがYEGであると信じています。

県連会会長を輩出する予定の2020年度を見据えつつ、対外的なことにも積極的に目を向けYEG活動を通じ自己研鑽に励み、あらゆる角度からものの見方や考え方を学びながら仲間と共にこれまで踏み込まなかった多種多様なことに挑んでいく。そして行動を起こした時、1つ先又は1つ上のステージへ成長出来るのではないかと思います。よく現状維持という言葉に耳にします。しかし挑戦することをやめ、この現状維持にしがみつくとこそが後退の第一歩ではないでしょうか？

我々は地域を支える青年経済人の集まりです。今置かれている立場に満足せず常にしっかりとした共通の目的意識を持ち、創意と工夫、勇気と情熱を傾け「新たなステージへ挑戦する」意欲こそが自己や周囲を成長させ自社や組織の発展に繋げ、地域に活力を与え明るく元気な街にしていくことが出来ると考えます。2019年度江南YEGは、メンバーと地域にとって更に意義のある組織となるために

**"ONE UP!" Challenge to next stage**  
～新たなステージへ挑戦し、共に成長を～

のスローガンの基、仲間と共に“向上心”“好奇心”“冒険心”を持って変化を恐れず挑戦することで成長し合える組織に、また江南YEGの会員であるからこそ経験出来るYEG活動にメンバー自身が参加したくなる様な事業を展開してまいります。

皆様におかれましては、益々のご理解と積極的なご参画ご協力のほど何卒宜しくお願い致します。



2018年度

# 卒業式

## 2018年度 卒業式

日時：2019年3月19日 20:20～

場所：味の魚仙

担当：総務・渉外委員会

本年度15名が定年50歳を迎えご卒業されることとなりました。

- ・ 波多野 智章さん (2009年度入会)
- ・ 岡本 英明さん (2013年度入会)
- ・ 林本 敏明さん (2007年度入会)
- ・ 児山 良一さん (2006年度入会)
- ・ 松川 雅主さん (2005年度入会)
- ・ 伊藤 多鋭さん (2004年度入会)
- ・ 坪内 義延さん (2008年度入会)
- ・ 石井 公久さん (2009年度入会)
- ・ 倉地 一秋さん (2011年度入会)
- ・ 小沢 正知さん (2009年度入会)
- ・ 森 隆志さん (2007年度入会)
- ・ 船戸 徳仁さん (2003年度入会)
- ・ 山田 昌徳さん (2017年度入会)
- ・ 洞地 恵子さん (2015年度入会)
- ・ 鈴村 正悟さん (2007年度入会)

(生年月日順)

卒業式では、卒業生へ卒業記念品の贈呈と、ゆかりのある現役会員から思い出と感謝の気持ちを「贈る言葉」として語って頂きました。

### 卒業生代表挨拶

卒業生を代表して森隆志さんから挨拶を頂きました。「僕たち15名は卒業してしまいましたが、現役メンバーには江南YEGを盛り上げていてもらいたいです。青年部は参加すると面白いんです。是非、例会・事業には積極的に参加して下さい。そして、会員数100名をキープできるよう頑張ってください。」



森隆志さんから現役メンバーへ心のコもった熱いメッセージ

15名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

## 第48回通常会員総会

日時：2019年3月19日 19:00～

場所：江南商工会館

担当：総務・渉外委員会



### 会長挨拶

「本年度は“義理人情”のスローガンのもと、皆さんには活動して頂きました。スローガンの通り、各委員会メンバーの皆様が互いを思い合い、結束力の高い組織になったと感じています。次年度においても、この結束力で江南YEGが飛躍していくことを確信しています。自分で思考、自分で行動することが“義理人情”だと思えます。この言葉を胸に、YEG活動そして社業を発展させて頂きたいと思えます。2018年度のYEG活動、大変お疲れ様でした。」



### 議案審議

出席者58名、議決権行使者12名  
第1号議案 2019年度事業計画案 可決  
第2号議案 2019年度収支予算案 可決

### 年間100%出席表彰

- 磯村 聡将さん (副会長)
- 入川 信夫さん (会長)
- 内田 吉信さん (地域活性委員会・副委員長)
- 岡本 英明さん (地域活性委員会)
- 北畑 祐二さん (副会長)
- 桑山 弘好さん (広報配信委員会・委員長)
- 澁谷 威是さん (直前会長)
- 田中 弘一郎さん (研修親睦委員会・委員長)
- 野中 陽介さん (運営専務)
- 松野 拓也さん (副会長)
- 三輪 慎一郎さん (研修親睦委員会)
- 森 隆志さん (広報配信委員会)

## 2018年度出向者報告

### 宮本英行さん (県連・広報委員会)



出向先では、YEGdayのキャラバン活動や設営をメインに活動してきました。何もわからないまま出向しましたが、各単会からやる気のある方が集まっています、非常に刺激を受けました。YEGdayではキツネの着ぐるみを着て悪戦苦闘しましたが、貴重な体験ができました。

### 澁谷威是さん (県連・研修委員会)



研修委員会の副委員長として出向してきました。他単会の取り組みや行政との関わり方など色々と勉強させてもらい、これからの江南YEGにもさまざまな活動手法があるのではないかとこの可能性を感じました。皆さんの協力で、充実した県連活動ができました。ありがとうございました。

## 案内：第49回通常会員総会

場所：江南商工会館 1階ホール

日時：5月21日(火) 19:00～

議案：2018年度事業報告並びに収支決算について

担当：総務委員会

※服装については、ジャケット・ネクタイ着用。  
女性に関しましては相応しい服装にてお願いします。  
定刻を過ぎますと会場封鎖しますのでご注意ください。

### 懇親会

場所：味の魚仙

時間：20:10～22:10

登録：5,000円

出欠席の回答は

**4月26日(金)までに必ず**

事務局(小松)へ御連絡下さい。

facebook (会員限定)にて写真・動画の活動報告をしています。  
登録方法は担当鈴木馨または各委員長まで

ONE UP! 4月号 発行日：2019年4月16日 (毎月第3火曜日)  
担当記者：鈴木馨

編集・発行 江南商工会議所青年部 広報・渉外委員会  
〒483-8223 江南市古知野町小金 112  
tel.0587-55-6245 fax.0587-54-9141  
URL <http://www.konan-yeg.com/>

# 日々を綴る

仕事、家庭、趣味、e t c...  
江南Y E Gメンバーの自由なエッセイ

エッセイの投稿を募集しております（タイトル、文章500字前後、写真1枚とそのコメント1行）



ありがとうございます魔法のことば

福田 直樹（副会長）

しがらない設備会社の代表になり17年の月日が経ちました。一念発起して会社を買収した訳ですが、最初の仕事は借金の保証人になることでした。当時は包括保証でしたのでその額は1億7千万円という高額でした。腹を括り、泥まみれになりながら数年間は365日休み無しで駆けずり回りました。そんな数年の中で、色々な方に助けられ、裏切られ、恩を頂き、仇で返され。本当に人間の良いところ、悪いところ、温かいところ、冷たいところを沢山肌で感じ、心に仕舞う毎日でした。振り返れば当時30歳という若さの私には本当に試練の毎日だったと思います。余談が過ぎましたが、私がその経験で学んだことは、その場の空気感を読むこと、振れない信念を持ちつつ柔軟に対応すること、自らも汗をかくこと、そして最

後に感謝の気持ちを口に出す。ということでした。世の中は色々な柵があって、人の考えは千差万別です。でも「ありがとう」って言われて嫌な気持ちになる人って少ないと思います。だから、色々な場所でどんどん「ありがとう」って言いづけることはとっても大切です。会社や青年部、何でもいいです。共に過ごす仲間の中で感謝の気持ちを口に出すと、その周りに小さな連帯感が生まれます。その伝播、継続が良い集団をどんどん構築していくのだと思います。ここまで読んでいただいて、福田は空気を読めるのかと思われた多くの方、安心して下さい。福田は空気を読んだ上でワザと時々引き金を引いています（笑）冗談はさておき、「ありがとう」は魔法のことば。たとえ心で思っていない（笑）笑顔でありがとうととりあえず言うておく絶対人間関係は上手くいくと思います。

追記 会社はその後、負債もすべて返済し、年商5億を越えるに至りました。皆さんのおかげです。ありがとうございます。（おわり）



光と影

桑山 弘好

光が強ければ強いほど、出来る影も濃く深い。きっとその通りだと思う。青年部に入ってから沢山の人と出会い、色々な事を話す機会が増えた。時に笑い合い、時に真剣に語りあい、それはそれは楽しくかけがえない時間となっている。青年部に入って当たった光が私に濃い影も作った。不肖私の趣味は将棋と落語と読書と音楽とスポーツ観戦で、それらは独りで向き合っ

何事にも当てはまり、光と影はときに性質が入れ代わる。「良い」と思った時は良くないことが同時に起こり、「良くない」と思った時には良いことが同時に起こっていると思える。趣味の1つに音楽を挙げたが、私、今ギター片手に弾き語りなんかをしている。大勢のファンに囲まれてチャホヤされたいという思いも無くはない。でもこれも光と影で、数人のお客相手に歌っている方が純粋に出来るかもしれないとも思える。私は光と影を肯定して調和を取ってやっていくのが性に合っていると思っている。バランスよく食べたい男なのだ。



先日ハニービートさんで「大人のアコースティックナイト」という企画ライブに出演させていただきました。（写真はすべて出演者）



日曜主夫

鈴木 馨（広報渉外委員会）

2年前に結婚してから、毎週日曜日は、家族の食事の支度をする“日曜主夫”をしています。料理が得意なわけではありませんが、7歳で我が子になった娘への愛情表現として始めました。

土曜の昼頃から献立を考え、仕事帰りに食材の買い出しのためスーパーへ。今はネットを使えば簡単にレシピが手に入り、食材からレシピを検索することもできます。昔であればレシピ本を購入していたでしょうが、今は無限のレシピ情報が無料で手に入ってしまう。ネット情報を便利に使ってはいますが、こんなところから時代の流れと経済の流れを感じております。話が飛びましたが、朝・昼・夜の献立を考えるのは週に1度であってもなかなか大変で、世の主婦の苦勞を垣間見ております。

また、食材の買い出しは私の生活の楽しみでもあり

ます。先日も、品定めをしていた養殖ブリの切り身（1切れ350円くらい）に、目の前で半額シールがつけられ、喜びのあまり一瞬目が止まりました。それからというもの、その時の感動がふと蘇ってきて、ブリのことばかり考えてしまいます。

今のところ日曜主夫は家族からの評判も良く、私も色々なメニューにチャレンジしております。目下の目標は“スチームオーブンレンジを使いこなす！”です。スチームオーブンレンジ…奥が深いです。



昼食用にペーグルを焼きました